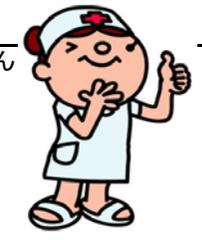


前立腺生検を受ける

様(入院診療計画書)

	入院(手術前日) (/)	手術当日(/)		退院日 (/)
		手術前	手術後	
到達目標	①手術前後の流れがわかり、手術が受けられる ②38℃以上の発熱がない		①尿の色が黄色～淡い赤色で経過する ②血圧・脈拍・体温が安定している ③尿管による痛みが緩和される ④尿管の管から、尿が順調に流れる ⑤深部静脈血栓を起こさない ⑥フットポンプによって、皮膚に損傷が起らない ⑦スムーズに排尿ができる	①尿の赤みが強くなっていない ②38℃以上の発熱がない ③尿管による痛みが緩和される ④尿管の管から、尿が順調に流れる ⑤深部静脈血栓を起こさない ⑥スムーズに排尿があり、退院できる
治療・検査	血栓予防のために、弾性ストッキングの足首のサイズを測ることがあります	手術前に血栓予防のため、弾性ストッキングを着用する場合があります	血栓症予防のために、足にフットポンプをつける場合があります。歩行許可が下りれば、フットポンプをはずします 医師の指示によって、酸素をすることがあります 消灯時間までに、尿の赤みが強くなければ、尿管を抜きます。消灯時間を過ぎたら、翌朝に尿管を抜きます。その後、排尿状態を確認します	歩行開始後、弾性ストッキングをぬぎます 尿管が入っている場合、尿の赤みが強くなければ、尿管を抜きます その後、排尿状態を確認します
処置		血圧・脈拍・体温・体重測定後に、洗腸をします	点滴を行います 状態が落ち着くまで、血圧・脈拍・体温測定を行います	点滴終了後に、針を抜きます 起床後、血圧・脈拍・体温測定を行います
内服	現在服用している薬を確認します 中止している薬はお預かりしますが、退院時にお返しします。外来で処方された抗生物質の持参薬を確認をします	朝から、抗生物質の服用をはじめます 糖尿病の治療薬(内服、インスリン)を使用されている場合は手術当日の治療薬が中止となり血糖測定を行う場合があります	中止している薬を除いて、夕食後から内服できます	中止している薬の、再開日をお知らせします
安静度	制限はありません		許可ができるまでベット上安静です 麻酔の方法によって安静時間が異なります。医師の指示を確認して、お伝えします	制限はありません
清潔	手術の前日は、入浴していただきます。入浴の順番を調節してお伝えします。 入浴できないかたは、お体を拭きます		必要時、洗面をお手伝いします	制限はありません
食事	麻酔科医師の指示で、絶飲食の場合と術前経口補水液を飲む場合があります ①絶飲食の場合、夜21時以降は食べられません。水分は麻酔科医師の指定した時間まで飲みます ②術前経口補水液を飲む場合、麻酔科医師の指示を確認し、方法や量をお知らせします	①前日から絶飲食の場合、飲み物は飲めません ②経口補水液を飲む場合、麻酔科医師の指示で、手術前に経口補水液を飲みます	麻酔が覚めたことを確認するまで、飲んだり食べたりできません 安静時間が過ぎたら、夕食を食べることができるので、お伝えします 	制限はありません 
説明	・泌尿器科医師から、手術と血栓予防についてご家族と一緒に説明があります ・手術承諾書を提出して下さい ・麻酔科医師が麻酔について説明します ・麻酔同意書を提出して下さい ・手術室看護師がお伺いします	・入れ歯・時計・指輪・眼鏡・かつら等、身につけている物はずして下さい ・パンツと病衣のみ着用できます ・手術室への入室時間は前後する事があります ・手術中、ご家族の方は、病室又はデイルームでお待ちください	・手術の影響で、尿や便に血液が混じり、赤くなったり、血の塊が出る場合があります。 ・尿管の管の影響で、不快感・痛み・便意を感じる事があります。 ・弾性ストッキング、フットポンプ装着中の痛み、かゆみ、痺れがあればお知らせ下さい ・尿管の管が抜けた後、1回目の尿を排尿カップにとり、看護師に見せて下さい	・医師の許可ができれば退院となります ・退院後の生活について看護師から説明があります ・不明な事があれば遠慮なくお尋ね下さい